

## 三宅島の現状 (その73)

三宅村現地災害対策本部  
平成 16 年 2 月 25 日

### 【気象および火山観測状況】 2月12日から2月25日

今期間の気象状況は、期間の初めと終わりは、天気が周期的に変化し、曇りの日が多く一時的に雨が降り、22日の夜から23日の未明にかけては、寒冷前線の通過により、坪田で33.5mmの降水量を観測しました。期間の中頃は冬型の気圧配置となり、晴れの日が続きました。

火山の活動状況は、三宅島での有感地震はありませんでした。噴煙の状況は最大で16日に白色の噴煙が火口上1,000mまで上がっているのが観測されました。

火山ガス(SO<sub>2</sub>)の放出量調査は、17日に東京消防庁の協力により、約3,800から約6,200トン/日を観測。24日には海上保安庁の協力により、約3,600トン/日を観測しました。

島内のガス濃度は(SO<sub>2</sub>)の今期間最大は、19日に三宅島空港で6.3ppmを観測しました。(東京都環境局観測)

### 【山頂火口カメラ】

現在島内では、三宅島山頂における火山観測を強化するため、カルデラ内を連続監視できる監視カメラや地震計、ガス採取管を火口縁辺に設置する作業を行っています。2月20日から観測機器と気象庁を接続する電源、データ伝送ケーブル(光ファイバー)の敷設作業を、気象庁、東京都、三宅村、消防団の防災関係者で開始しました。

この観測拠点を、雄山火口の南西部から約150m下の地点に設け、火口カメラでは火口内のガス放出の状況、微小噴火などの表面状況を連続的に観測します。また地震計では火口直下を震源とする地震や微動の監視。火口ガス採取パイプでは火山ガス濃度の連続観測、ガス組成比の観測を行っていく予定です。

これらの観測体制の確立は3月の完成を目途に作業を進めており、火山観測を詳細に行うことにより、島内の安全対策がより進むこととなります。

### 【日帰りおよび滞在型帰宅事業実績】

#### 日帰り帰宅事業の実績

2月13日	阿古地区	参加者数	21名
2月20日	坪田地区	参加者数	34名

#### 滞在型帰宅事業の実績

2月13日から16日	阿古地区	参加者数	17名
2月20日から22日	坪田地区	参加者数	47名
2月23日から26日	坪田地区	参加者数	38名

- A** 現時点で長期的影響の目安に達している観測点
  - B** 現時点で長期的影響の目安に概ね達しているが、今後の推移を注意深く見守る必要がある観測点
  - C** 現時点で長期的影響の目安に達していない観測点
- 現時点で長期的影響の目安に達している観測点であるが、高感受性者が注意を要する月平均時間(分)

伊ヶ谷老人福祉館		
長期	年平均値(ppm)	0.05
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	7.4
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	2,347
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	1,300
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	179
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	1

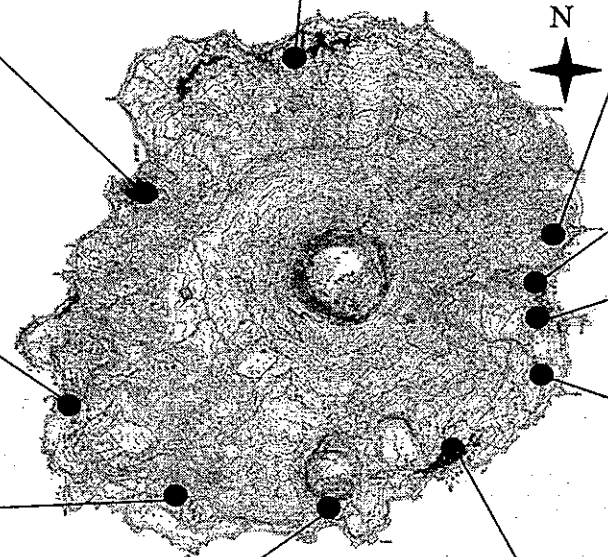
三宅支庁		
長期	年平均値(ppm)	0.01
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	2.1
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	655
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	311
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	23
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	0

逢の浜温泉		
長期	年平均値(ppm)	0.17
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	20.0
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	6,083
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	2,948
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	991
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	81

三池消防器具置場		
長期	年平均値(ppm)	0.27
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	25.6
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	8,970
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	5,769
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	1,487
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	178

阿古港船客待合所		
長期	年平均値(ppm)	0.06
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	9.0
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	2,693
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	1,371
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	192
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	2

三宅村役場		
長期	年平均値(ppm)	0.35
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	22.2
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	8,090
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	6,393
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	2,695
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	364



薄木生コン工場		
長期	年平均値(ppm)	0.19
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	20.5
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	5,941
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	3,830
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	1,037
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	20

アカコッコ館		
長期	年平均値(ppm)	0.04
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	6.3
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	1,683
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	712
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	153
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	14

坪田公民館		
長期	年平均値(ppm)	0.02
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	3.1
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	780
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	389
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	80
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	4

三宅島空港		
長期	年平均値(ppm)	0.25
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	16.9
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	6,128
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	4,843
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	2,115
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	109

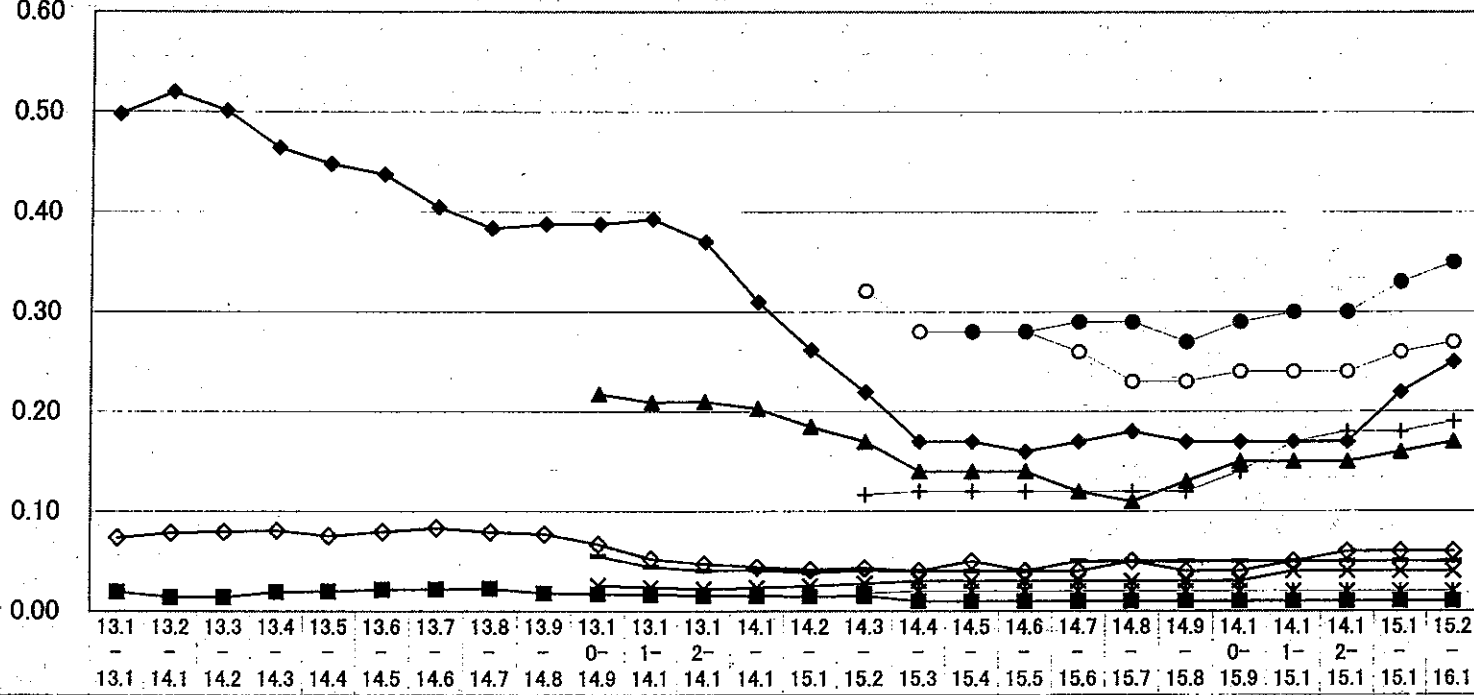
\* データは平成15年2月1日から平成16年1月31日まで。

二酸化硫黄濃度の目安に照らした各観測点の状況

濃度(ppm)

- 三宅支庁
- ▲ 逢の浜温泉
- 三池消防器具置場
- ◆ 三宅島空港
- \* 坪田公民館
- × アカッコ館
- + 薄木生コン工場
- ◇ 阿古船客待合所
- 伊ヶ谷老人福祉館
- 三宅村役場

期間



	13.1	13.2	13.3	13.4	13.5	13.6	13.7	13.8	13.9	13.1	13.1	13.1	14.1	14.2	14.3	14.4	14.5	14.6	14.7	14.8	14.9	14.1	14.1	14.1	15.1	15.2	
	13.1	14.1	14.2	14.3	14.4	14.5	14.6	14.7	14.8	14.9	14.1	14.1	14.1	15.1	15.2	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7	15.8	15.9	15.1	15.1	15.1	15.1	16.1
三宅支庁	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
逢の浜温泉										0.22	0.21	0.21	0.20	0.18	0.17	0.14	0.14	0.14	0.12	0.11	0.13	0.15	0.15	0.15	0.16	0.17	
三池消防器具置場															0.32	0.28	0.28	0.28	0.26	0.23	0.23	0.24	0.24	0.24	0.26	0.27	
三宅島空港	0.50	0.52	0.50	0.46	0.45	0.44	0.40	0.38	0.39	0.39	0.39	0.37	0.31	0.26	0.22	0.17	0.17	0.16	0.17	0.18	0.17	0.17	0.17	0.17	0.22	0.25	
坪田公民館															0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
アカッコ館										0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	
薄木生コン工場															0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.14	0.17	0.18	0.18	0.19	
阿古船客待合所	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05	0.04	0.05	0.06	
伊ヶ谷老人福祉館										0.06	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
三宅村役場																	0.28	0.28	0.29	0.29	0.27	0.29	0.30	0.30	0.33	0.35	

## 火山ガスと健康影響に関する Q&A

Q どうして健康診断を受けなくてはいけないのですか？

A 帰島前に健康診断を受け、自分自身の二酸化硫黄（火山ガス）に対する感受性について概ねの程度を知っておくことは、島での日常生活の行動基準を把握する上で必要です。

また、帰島後にも健康診断を受け、帰島の前と後との健康の状態を比較することで、健康の状態の変化を知ることができ、火山ガスの影響の早期発見にもつながります。



平成 16 年 3 月 1 日  
三 宅 村 役 場  
農林水産業整備担当課

## 「耕作農地の立入り、杭打ちについて」

村では、避難前に耕作されていた農地（地目での農地ではなく、現況での農地）を対象に、降灰や泥流の除去・荒畑の開墾などの整備等に向けて、現在「農地被災状況調査」を実施しております。

この調査は、農地の被災状況の面積などを確定し、調査・設計を行い、国の災害査定を受けるための準備作業です。なお、調査対象となる農地は、避難前に耕作されていた農地の中から抽出して調査いたしますので、調査に該当した農地について、作業の都合上杭等を打つ必要がございますので、地主の皆さまには、ご理解とご了承をよろしくお願いいたします。

### 【お問合せ先】

農 林 水 産 業 整 備 担 当 課  
農 林 係 村 山  
☎ 03-5320-7828  
(内線) 45-651

# 都営住宅の利用について

現在、東京都から提供を頂いている都営住宅に入居されている方で、入院や仕事などで長期間住宅を不在にする場合は、不在届(短期・長期)を村民課避難対策係へ提出していただくようお願いいたします。

なお、書類は、ご連絡をいただければ送付いたします。

## Q&A

Q 短期不在と長期不在の期間はどのくらい？

A 短期の不在は、おおむね2ヶ月以上から1年未満まで

長期の不在は、おおむね1年以上をいいます。

Q 東京都住宅局への届出は必要ないですか？

A 東京都へは、村を経由して報告いたします。

お問合せ先

三宅村新宿総合事務所 村民課避難対策係

☎03 (5321) 1111(内線 45-661)

☎03 (5320) 7829 直通

担 当 彦坂・長谷川

# 見本

長期不在届

東京都住宅局長 殿

私が、一時使用許可された下記の都営住宅等施設について、  
平成16年2月〇日をもって長期不在と致しますのでよろ  
しくお願いします。

記

1. 住所 武蔵村山市緑が丘1460
2. 住宅名 村山アパート
3. 部屋番号 〇〇-〇〇〇

平成16年2月〇日

氏名 三宅太郎 印

短期不在届

東京都住宅局長 殿

私が、一時使用許可された下記の都営住宅等施設について、  
平成16年2月〇日をもって短期不在と致しますのでよろ  
しくお願いします。

記

4. 住所 武蔵村山市緑が丘1460
5. 住宅名 村山アパート
6. 部屋番号 〇〇-〇〇〇

平成16年2月〇日

氏名 三宅太郎 印

# 避難先住所の変更届について

日頃より、村行政の円滑な運営にご理解とご協力をいただき感謝いたします。

現在、村では、島民の方に避難先住所の届出により、避難先の把握や情報提供などを行っております。

都合により避難先住所を変更した場合は、『避難先変更届』の提出をお願いいたします。

なお、書類は、ご連絡をいただければ送付いたします。

お問合せ先

三宅村新宿総合事務所 村民課避難対策係 電話 03-5320-7829 担当 彦坂・長谷川
--



見本

避難先変更届

受付日	平成	年	月	日	受付者
-----	----	---	---	---	-----

届出人	三宅太郎				
移動した日	平成 16 年 2 月 〇 日	住宅種別	公営・社宅・縁故・施設		
新避難先	〒208-0012 武蔵村山市緑が丘1460 村山アパ+〇-〇〇〇		電話番号	042-△△△-〇〇〇〇	
旧避難先	〒168-8001 新宿区西新宿 △-△-△		電話番号	03-〇〇〇〇-XXXX	
三宅村住所	三宅村坪田 〇〇〇-〇				
移動者氏名	三宅太郎				
	花子				
	次郎				
	桃子				
備考					

※縁故先については方書を記入する

処理日 平成 年 月 日

課長	係長	係

# 地場産業復興準備対策事業 お知らせ

三宅村では、国・東京都の協力を得ながら、避難されている島民の方々の雇用を確保するため、緊急地域雇用創出特別基金事業として、「げんき農場」や「ゆめ農園」の運営事業を実施してきたところです。

しかしながら、平成16年度においては、この基金を活用した事業の継続が困難な状況となり、従来どおりの運営ができなくなりました。

このような厳しい状況下においても、「帰島後の地場産業の再開を見据えた人材の育成等」については、継続して取り組んでいかなければならない重要課題の一つであると考え、平成16年度は、「げんき農場」、「ゆめ農園」の用地を活用した「地場産業復興準備対策事業」を実施いたします。

この事業は、これまで実施してきた基金事業とは目的・性質が異なり、村単独の事業費を充てて運営しなければならず、財源も限られていることから、応募された島民の方々全てが対象となるものではありません。

応募の内容を三宅村が確認したうえで、島民の方々に農場での作業等をお願いすることとなりますのでご理解下さい。

平成16年3月1日

三宅村

# 地場産業復興準備対策事業 作業員募集について

## 目 的

この事業は、帰島後の島の主要特産物の復興や降灰などによって失われた緑資源の回復を速やかに行うため、種苗の確保育成に取り組み、新たな特産品の試験販売や市場の開拓など、地場産業の再開に必要となる準備を行う事業です。

このたび、地場産業復興準備対策事業を円滑に実施するため、作業員として島民の方々を次のとおり募集いたします。

## 記

### 1 応募資格

作業員の応募資格等については、次のとおりです。

- (1) 平成 16 年 3 月 1 日現在、三宅村の住民基本台帳に登録されている方
- (2) 三宅島の地場産業の復興に携わる意欲があり、農場での作業ができる方
- (3) 本事業の趣旨を十分に理解し、村が定めた期間内に応募申込みをした方

ただし、原則として、下記の項目に該当する方は、応募状況に応じて作業日数を調整します。

イ. 給与所得等が得られる世帯に属する方

ロ. 厚生年金等の受給等により、ある程度の収入を得ることができる方

### 2 募集期間

- (1) 募集期間 平成 16 年 3 月 3 日から 3 月 10 日 (当日消印有効) まで
- (2) 採用・不採用通知 平成 16 年 3 月下旬 (郵送により通知します。)

### 3 作業場所

#### (1) げんき農場

東京都八王子市宇津木町 236-1 (都立小宮公園隣) のほか

※ 最寄駅 (JR八王子駅・京王八王子駅) 近くの都立産業技術研究所八王子

庁舎からシャトルバス 約20分

#### (2) ゆめ農園

東京都江東区夢の島 3-30 (旧清掃工場跡地) のほか

※ 最寄駅 新木場駅 (地下鉄有楽町線、JR京葉線、臨海副都心線)

徒歩 15分

### 4 作業条件

#### (1) 作業内容

##### ① げんき農場

イ. 明日葉、里芋等、野菜の栽培、育成

ロ. 種苗の確保

ハ. 生産物の販売など

##### ② ゆめ農園

イ. 紫陽花、椿、観葉植物等の栽培・育成

ロ. 溶岩鉢等新たな特産品の開発

ハ. 島内圃場等による試験栽培

ニ. 生産物の販売など

#### (2) 作業日数

○ 1ヶ月あたり概ね月4日~10日の範囲内での作業となります。

なお、応募状況等に応じて、日数の増減があります。

(3) 作業時間

- 午前8:30～午後4:30までとします。

(4) 賃金

- 作業員については、1日当たり¥5,770円（交通費実費）となります。

○ 班長等については、手当として¥1,000円が加算されます。

※ 班長等は、一般の作業員とは作業内容等が異なるため、農場の管理責任者が選定することとします。

5 採用予定人員

- 採用予定人員については、150名程度とします。

6 応募について

(1) 応募方法

- 応募の窓口は（社）三宅村シルバー人材センターが行い、応募内容の確認、審査については、三宅村が行います。

応募から作業までの流れについては、9頁の「地場産業復興準備対策事業の運営について」を参考にしてください。

- 応募については、6、7頁の応募用紙に必要事項をご記入のうえ、下記の応募先まで郵送又は持参して下さい。（FAXによる応募は不可）

- 記入に際しては、8頁の記載要領を参考に記入下さい。

(2) 応募先（提出先）

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 シニアワーク東京2階

（社）三宅村シルバー人材センター臨時事務所内

地場産業復興準備対策事業調整窓口 担当 宮澤・宮下

電話 03-3239-4343

## 7 運営主体

- (1) 地場産業復興準備対策事業調整窓口… (社) 三宅村シルバー人材センター
- (2) げんき農場の運営、施設管理運営… (社) 三宅村シルバー人材センター
- (3) ゆめ農園の運営、施設管理運営…三宅村森林組合

## 8 事業期間

この事業の実施期間は下記のとおりです。

- 平成 16 年 4 月 1 日から 9 月 30 日までの間 (上半期分)  
下半期分については、事業を検討中です。
- 4 月 1 日はそれぞれの農場において説明会を実施します。

## 9 事業に関するお問合せ先

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 都庁第一庁舎 南 41 階

三宅村新宿総合事務所 村民課 担当 曾我部・沖山(勝)・長谷川(恭)

電話 (代表) 03-5321-1111 (内線) 45-661、663

(直通) 03-5320-7829

# 記載例

## 地場産業復興準備対策事業 応募用紙

次の項目についてご記入下さい。

作業希望者氏名	三宅太郎		生年月日	大正・昭和10年4月1日		年齢	69才
三宅島住所	三宅島三宅村阿古000-0					性別	男・女
避難先住所	〒208-0012 武蔵村山市緑が丘1460		電話番号	042-0000-0000			
	村山アパート00-000		携帯電話	090-0000-0000			
緊急連絡先	氏名	三宅花子	続柄	妻		電話番号	042-0000-0000
	住所	〒208-0012 武蔵村山市緑が丘1460 村山アパート00-000					
家族構成	氏名	続柄	年齢	性別	職業(事業所名もご記入下さい)	1ヶ月のおよそ収入見込額	
	三宅太郎	本人	69	男	無職	¥60,000	
	花子	妻	60	女	00弁当屋パート	¥60,000	

次の質問に○をつけてお答え下さい。

(1)年金受給の有無等について	<input checked="" type="radio"/> 受給している <input type="radio"/> 受給していない <input type="radio"/> わからない (年金の種類は何ですか <input checked="" type="radio"/> 国民年金 <input type="radio"/> 厚生年金 <input type="radio"/> 共済年金 <input type="radio"/> その他 )
(2)健康状態について	① 常備薬を服用していますか <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ ② 既往病歴はありますか <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ ↳ (病名: 高血圧)
(3)希望の作業場所について	<input checked="" type="radio"/> ① げんき農場(八王子市内) <input type="radio"/> ② ゆめ農園(江東区内) <input type="radio"/> ③ どちらでもよい

この事業を円滑に運営するため、ご記入いただいた避難先住所等の内容について、三宅村において確認をさせて頂く場合がありますので、下記の同意書に署名・押印をお願いいたします。

### 同意書

東京都三宅島三宅村長 殿

私は、地場産業復興準備対策事業の円滑な運営のため、応募用紙に記入した内容について、三宅村が確認することを同意し、誤記等が認められた場合は、応募用紙の一部訂正を一任します。

平成16年3月0日

三宅島住所 三宅村阿古000-0

避難先住所 武蔵村山市緑が丘1460 村山アパート00-000

氏名 三宅太郎

(印)







## 記載要領

- 1 「作業希望者氏名」欄には、世帯のうち作業を希望される1名について記入して下さい。
- 2 「生年月日」、「年齢」欄については、保険証や運転免許証などを参考にして、ご記入下さい。
- 3 「避難先住所」、「電話番号」、「携帯電話」欄については、特に誤りのないよう注意してご記入下さい。
- 4 「家族構成」欄については、世帯全員を記入して下さい。
- 5 「職業(事業所名もご記入下さい。)」欄については、働いている場合については、漏れなく記入し、働いていない場合は空欄として下さい。
- 6 「1ヵ月のおよそ収入見込額」欄については、下記の考え方でご記入下さい。
  - (1) 働いている場合については、およその収入額を記入して下さい。
  - (2) 年金を受給している場合については、およその支給月額(2ヵ月分)の金額を記入して下さい。
  - (3) 定期的な収入が得られない等、金額の算出が困難な場合については、「不明」と記入して下さい。
- 7 「年金受給の有無等について」欄については、現在所有している年金証書に基づいてご記入下さい。
- 8 「健康状態について」欄については、現在の状況についてご記入下さい。わからない場合は「不明」とご記入下さい。
- 9 「希望の作業場所について」欄については、現在避難されている地域を考慮してご記入下さい。

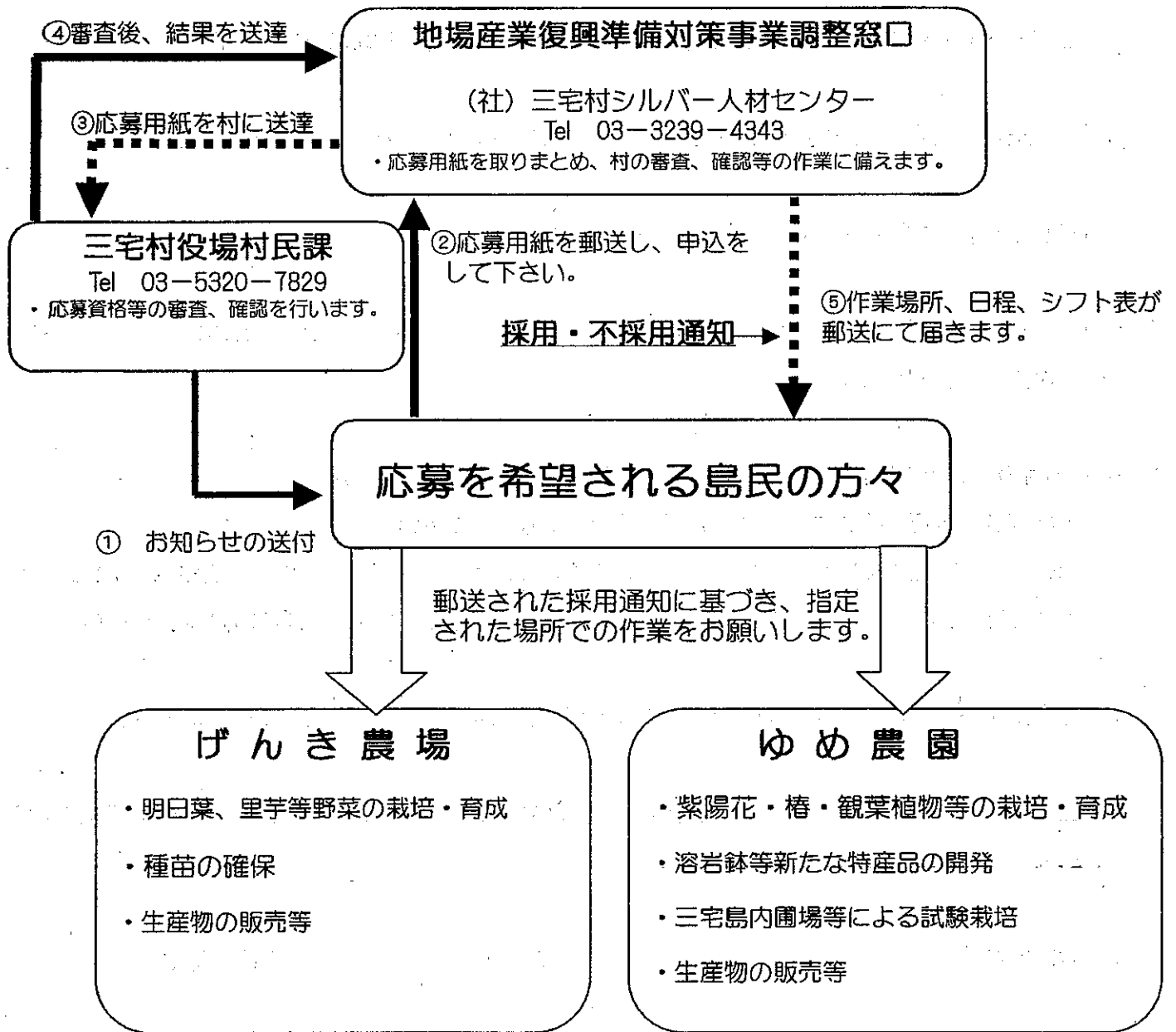
### 10 同意書について

島外避難以降、応募された島民の方々については、都営住宅等にお住まいのことと思います。

この避難先住所については、村は個人のプライバシー等の保護のため、慎重な取扱いをしておりますので、ご記入いただいた避難先住所等においても、慎重に取扱うとともに正確な情報でなければなりません。

このため、応募された島民の方々の同意に基づき、村が避難先住所等を確認させて頂きたいと思っております。

## 「地場産業復興準備対策事業」の運営について



地場産業復興準備対策事業調整窓口へのお問い合わせ (問合先 03-3239-4343)

- 事業の概要、応募のしくみ等に関すること
  - 応募の取りまとめに関すること
- (審査や確認等に関するお問合せには対応できませんのでご注意ください。)

三宅村役場村民課へのお問い合わせ (問合せ先 03-5320-7829)

- 事業の全般的な事項に関すること
- 作業員の審査、確認等に関すること

# 園芸技術センター情報（平成16年3月）

東京都農業試験場三宅島園芸技術センター

## “研究発表会のお知らせ”

春とはいえ、まだまだ寒い日が続きます。いかがお過ごしでしょうか。

当センターの研究発表会は避難後、13年3月、14年3月と2回行いましたが、  
昨年は諸般の事情によって開催を控えました。

今年は、下記の日程と内容で、島民の皆様への発表会を実施します。2ヵ年分  
の内容と、ほぼ結論が出た試験が中心ですので、是非、多くの三宅島の方々に  
参加していただき、ご意見を承りたいと思っています。

**日時：平成16年3月13日(土) 午後2時から4時30分**

**場所：東京都農業試験場 1階講堂**

(立川市富士見町3-8-1、TEL042-524-3191)

JR青梅線西立川駅下車、徒歩10分)

### 主な予定内容

- (1) 噴火直後から現在まで、火山灰がどのように変化したか？火山灰が堆積したままの農地土壌は？
- (2) 火山灰が土壌に混ざると、土壌がどの程度悪化するのか？レザーファン・アシタバ・野菜類など作物の生育への影響は？また、その対策は？
- (3) レザーファン・アシタバなどの農作物は、火山性ガスによって、どの程度の被害を受けるのか？
- (4) 島内植物への火山性ガスの影響は？

※また農業改良普及センターなどからの情報・報告も予定しています。

**裏面へつづく**

## “情報を求めています”

東京都農業試験場（立川）内のツバキ保存園に

### 「三宅千鳥（みやけちどり）」

と言うツバキ品種があります。今年も1月下旬から咲き始めました。淡いピンクの一重・筒状の花です。

「三宅島で選抜・育成された」とだけ文献に記載されています。この品種の由来・育成者など、情報をお持ちの方は是非、ご一報ください。

#### 連絡先

東京都農業試験場 内 三宅島園芸技術センター

野呂  
野口

東京都農業試験場

190-0013

東京都立川市富士見町3-8-1

TEL 042-524-3191

### 農場に根づくツワブキ

噴火災害で全島的に植生が破壊され、自然景観も見るに耐えない状況になっているなかで、海岸に自生する「ツワブキ」は強健で、災害後数ヶ月で新芽を出し、秋には花を咲かせ海岸線に色を添えていました。

その種子を採取し、ゆめ農園で播種し育てた苗をげんき農場に持ち込み、畑の周辺に定植、花壇の花と一緒に肥培管理したところ、元気に成長し昨年の秋には立派な花を咲かせました。そして年明けと共に種子が熟し、風が吹くと羽根状の種子が飛び散りました。春には、農場一面にツワブキが発芽するかもしれません。

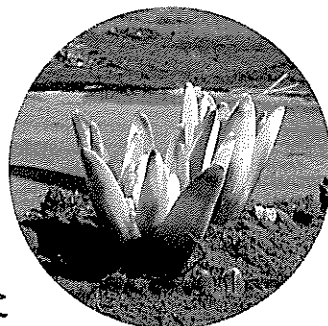
農場の跡地に、ツワブキ、アシタバ、ウコン等々、珍しい植物が自生する、名物の公園が誕生するかも！



[ 昨年10月の満開の頃 ]



ここにも  
春の足音が…  
春はもうすぐそこ



#### 来場者紹介

- ・西山税さん(八王子市別所在住:伊豆)
- ・(国立泉団地の皆さん) 平松一成・勲子さんご夫妻
- 菊地久雄・喜代子さんご夫妻、堀口晋作さん、島村幸男さん

- ・鈴木黄作・はるさんご夫妻(府中市在住:神着)、多田智恵美さん、阿部真智恵さん
- ・三宅島警察署の皆さん

(順不同)

※ 第28号で、山田祐璋さんの名前が間違っていました。大変ご迷惑をお掛けしました。訂正してお詫びいたします。

#### げんき農場へ来るには

JR八王子駅北口『12番』乗り場、または京王八王子駅『4番』乗り場より、『稲荷坂下』バス停で下車徒歩約10分。「ひよどり山中学校」のすぐそばです。

※ 両乗り場とも「純心女子学園」行きは2系統ありますので、「稲荷坂下」を通るか乗車の際にお尋ねください。

三宅島「げんき農場」だよりのバックナンバーはインターネットで見ることが出来ます。三宅島のホームページ「村民のひろば」の「げんき農場情報」をお訪ねください。

「村民のひろば」アドレス: [http://www.miyakemura.com/hiroba\\_index.htm](http://www.miyakemura.com/hiroba_index.htm)

# 三宅島「げんき農場」だより

発行元 三宅島げんき農場  
所在地 八王子市宇津木町236-1  
Tel&Fax : 0426 - 27 - 4355  
e-mail : genki-farm@nifty.com

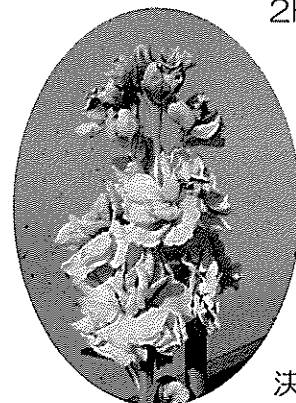
### げんき農場情報

げんき農場は今「冬ごもり」の真っ最中です。その中で、春に備えた畑の準備や、植栽中のアシタバ、ミョウガ、花卉類などの防寒対策、各種イベントに提供する里芋などの掘り出しと袋詰め、その他農産加工学習などが毎日の仕事です。



同時に春の植付け計画も進めています。貴重な種苗の増殖と保存、イベント出荷用各種作物や栽培技術の習得用作物の選定など、

2haと言う限られた畑の中で、可能な限り連作を避けながら有効な利用方法を検討しています。



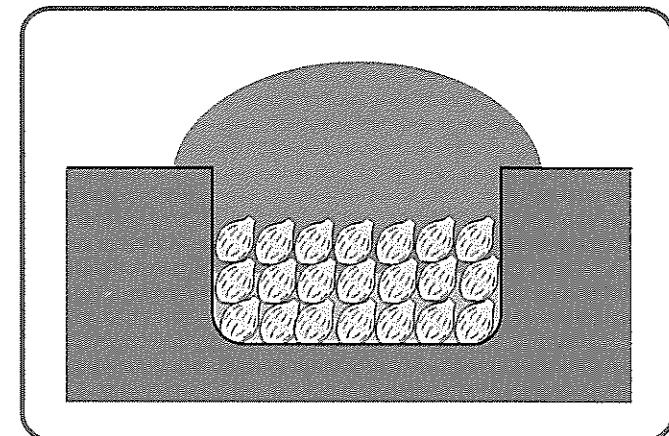
今、場員の最大の関心事は来年度以降の「げんき農場の継続」です。げんき農場の設立を含めて、初めてづくしの今回の噴火災害において、行政も頭を悩ませていることと思います。しかし、賃金収入を得る以上に、心よりどころとなっている「げんき農場」の継続は、場員の切実な願いになっています。様々な問題を抱えている避難生活の中、げんき農場の継続が決定し、島民の励みのひとつになることを願ってやみません。

### 伏せ込み(越冬)作業

三宅島と八王子の大きな違いは冬の寒さです。一昨年の11月下旬、突然の降霜で里芋の葉が凍結し、一気に焼けただけ、見るも無残な姿になってしまいました。このような、まさに“人為もって抗し難い”季節の変わり目は三宅にはありません。

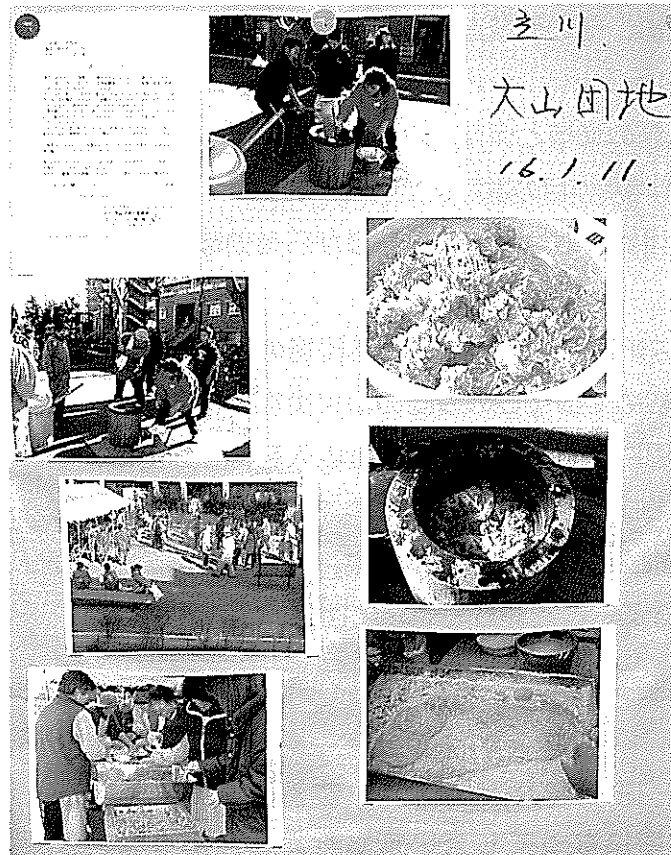
せっかくの種芋が、霜害で生長点を傷めては大変です。早々に掘り上げを決定。株のまま(親芋と小芋を分離せず)、あらかじめ掘っておいた“伏込穴”に入れました。伏せ込みの高さは三段、上部を八丈ススキで保護し、さらに厚さ50cmの土をかぶせ外気から守りました。この越冬用の寝床で、4月上旬の植付けまで静かに休眠させます。

ここ八王子では、このような保護をしてあげなければ、寒さに弱い里芋は植付けまでに腐ってしまうのです。



### サツマ煮切り干し報告

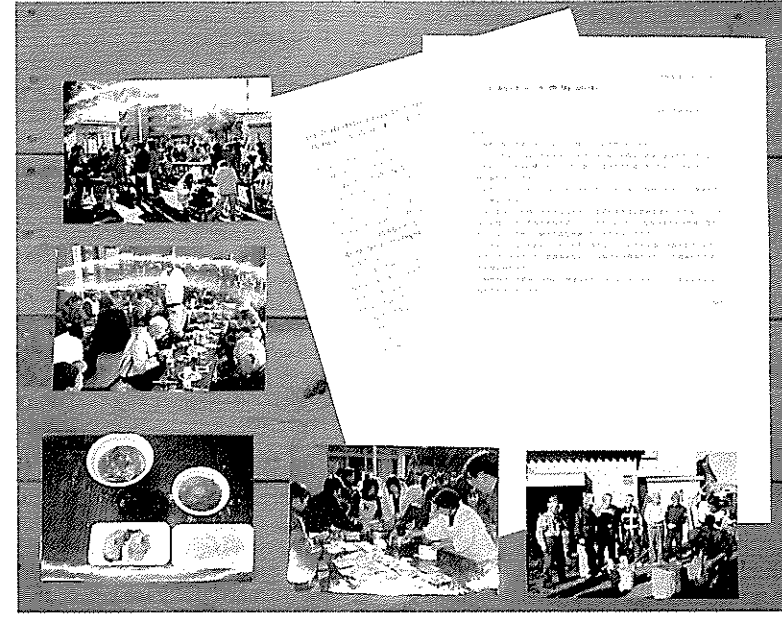
昨年末から今年にかけて、げんき農場産「サツマの煮切り干し」を避難先の島民会などへ提供いたしました。最終的な出荷数は16カ所、73臼分となりました。お礼の電話やファックス、手紙も届き、懐かしいサツマ餅を味わって欲しいとのげんき農場の願いが、わずかばかりですが果たせたことを喜んでます。頂いたお礼状のいくつかに、餅つき会の様子を写した写真が添えられていましたのでご紹介します。



八王子市別所第二団地より、沢山の写真が届きました。賑やかで楽しそうな雰囲気が見る方にも伝わってきます。



立川大山団地より届いたお礼状と写真です。模造紙に貼り付け場内に掲示しました。



国立市南区自治会より頂きました。お礼状、写真の他、餅つき会の様子を綴ったリポートも頂き、写真と合わせて楽しい雰囲気が感じられるお便りでした。

### 場員のページ



伊藤 俊則 [江東区在住：坪田]

あの姿、あの山、荒れほうだいの三宅島。早く帰り、元の姿に戻したい。

げんき農場に来て、はや数年がたちました。皆さんに教わりながら仕事をしてきました。今は班長という大役を務めさせていただいていますが、これからも色々学んでいきたいと思っています。

[餅つき会では大活躍でした]

寒風吹き荒れる日、農場での作業は、アシタバ畑の竹囲いを冬の雪や風から守るため、補強していく仕事でした。

農業経験など無いに等しい私ですが、八王子の寒さは島で作物を作る以上の手間がかかると思いました。例えば、今日、土の中に埋め忘れたサトイモは、明日の朝には凍結し、昼、冬の太陽に当たり半透明の液体と化し、やがて風化していきます。

防寒対策などなくても、真冬に発泡スチロールの中で花いっぱい咲かせた島の我が家を思い出します。今一度、あの庭に花をいっぱい咲かせたい。青い空、青い海に抱かれて避難生活で冷えきった心身を癒されたい。



栗本 ヒサ [八王子市別所所在：坪田]

噴火災害にあつてから避難生活も3年が過ぎた。私達の避難先、稲城市は北東部に多摩川が流れ、南はゴルフ場がある丘陵が、西は米軍多摩サービス補助施設の丘があり、平地は多摩川に沿って東側に広がっている。

ここ稲城市は、昔から多摩川梨の生産地として有名で、現在も梨畑が見られ、稲城梨、新高梨のブランド品として名が売れている。春には白い花が咲き、夏は多摩川の花火、秋は街路樹が紅葉し、落ち着いた住みよい街です。



横倉 三雄 [稲城市在住：阿古]

私達の住む向陽台都営団地の周りは、住宅整備公団のマンションが建ち並んでいるが、裏側は公園の森林で、春には若葉が美しい憩いの場所となっている。この都営団地は1号棟から4号棟まであり、168世帯が住んでいる。このうち三宅島から避難した私たちは3号棟におり、34世帯84名が居住している。

避難してすぐに、稲城市役所、社会福祉協議会、ボランティアの方々から衣類、日用品の支援を受けた。避難生活が長期化して、地域の方との交流の場も開けていった。

市が主催する稲城ふれあい祭り、稲城市民文化祭りの参加、それに市福祉協議会、市民ボランティアとの週一回行なう火曜会では、押し花や人形作り、さおり織などの指導を受け、また日帰り旅行なども行なってきた。また地元のクラブ活動している太鼓の会「鼓遊」からは招待状と多額の寄付金も頂いた。このように地域の方々からも長期にわたって色々な恩恵を受け、感謝の気持ちで日々を過ごしている。

今後いつどのような形の帰島が可能になるのかわからないが、この稲城市で過ごした避難生活は一生忘れることはないだろう。3月の「三宅島帰島プログラム準備検討会」の結果報告を待ちたい。

# あかこっこ

No. 94 2004年2月

## モイヤーさんを偲ぶ

1月9日、アカコッコ館環境教育顧問で、三宅島の自然保護と自然教育に大きな貢献をされた、ジャック・T・モイヤー博士が亡くなりました。

1952年、モイヤーさんは23歳の時に、三宅島の西部にある三本岳(大野原島)が米軍機の爆撃演習場になったことを知り、三本岳で繁殖するカンムリウミスズメを守るために、当時のトルーマン大統領に空軍の爆撃訓練中止を訴える手紙を送りました。このモイヤーさんの手紙と適切な行動のおかげで、三本岳のカンムリウミスズメは守られることになり、これをきっかけにモイヤーさんは52年7月に初めて三宅島へ来られました。モイヤーさんはこの自然保護活動により、1954年に日本鳥類保護連盟により表彰されています。

57年には英語教師として再び三宅島を訪れ、坪田水泳クラブや野外教室での活動を開始され、多くの方が英語や島の自然について学びました。59年にアメリカへ一時帰国されたものの、62年からはアメリカンスクールの教師となり、三宅島での魚類の繁殖行動の研究を開始されました。数多くの論文を発表され、中でも世界で初めて発見されたクマノミの性転換の話やヤッコ類の繁殖生態の研究はよく知られています。

93年からは、三宅島自然ふれあいセンターアカコッコ館の環境教育顧問として、来訪者に三宅島の自然の魅力、海のすばらしさ、大切さを広く紹介されました。「モイヤー先生のオーシャンセミナー」や講演などを通じて、自然のすばらしさ、自然教育の大切さに気づか

れた方も多いことと思います。96年にはそれまでのモイヤーさんの海洋教育分野での活動に対して、朝日新聞社より「第1回海への貢献賞」が贈られました。

三宅島の富賀浜や長太郎池をフィールドにして、自然の大切さを子どもたちに伝える活動を進められる一方、三宅島でのエコツーリズムの普及にも力を注がれ、アカコッコ館の開館5周年記念シンポジウムでは、島内外の参加者を集めてエコツーリズムの必要性を訴えました。

00年6月、三宅島での噴火が始まり、9月に全島避難により、島を離れたあとも、各地で三宅島の現状や海の大切さを伝える講演や佐渡で海洋自然教室を開催されるなどの活動を進められていました。

50年以上にもわたって三宅島のために尽くして下さった、モイヤーさん。

謹んでお悔やみを申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



＜長太郎池で子どもたちに教えるモイヤーさん＞

## モイヤー先生に思うこと

鈴木則子 (阿古)

モイヤー先生はどんな人」と私に聞かれたら、  
・人間を愛し親しんで係わってくれた人  
・自然を愛し保護を呼びかけ続けた人

モイヤー先生が三宅島へ来たのは私が中学生の頃。「坪田中学校にアメリカから先生が来た」と言う話は島中を賑わしたことを記憶している。

高校一年生のとき、坪田の同級生が「ジャックさん、



ジャックさん」とモイヤー先生の話をしているの聞きながら過ごした。

また、弟は中学生時代にモイヤー先生から習ったのは英語の勉強だけではなく、キャンプをしたり、海で過ごしたりしながらいろいろな事を学んだとのこと。「火とナイフがあれば人間は生きていられる」と教えられたことを忘れていないという。今でも「ジャックさん、ジャックさん」と呼んで親しんでいた。

私もモイヤー先生と会う機会は多くあったが、モイヤー先生からいろいろと学びはじめたのはアカコッコ館が出来て、「三宅島自然ふれあい友の会」での活動が始まってからだ。そこで学んだことは多く、いろいろなことを思い出す。

また、友の会の活動の中で「アカコッコ館」の指導員の方、モイヤー先生、友の会の仲間たちと早朝の長太郎池の観察会や、野鳥の調査や観察等に参加したことで、三宅島の自然の素晴らしさを教えて頂いた(体調が悪くなり、野外での行事に参加する機会は少なくなったが)。

三宅島の自然を愛し、世界中の人々に自然保護を呼びかけ続けてくれた先生の意思と、その姿と合わせて、三宅

島に帰ったら、友の会の仲間たちと共に、モイヤー先生の遺志を継ぎ三宅島の自然を大切に守り続けたい。



〈自然の大切さを伝えるモイヤーさん〉

ジャック・モイヤー先生 ありがとうございました

穴原美奈 (坪田)

モイヤー先生は、お心が温かく、広く、豊かで、やさしく、その上、鋭く見極める視点と、行動に移す強さを持ち、本当にすばらしい、地球環境保護に貢献する海洋生態学者でした。さらに、生涯にわたり、いつも大勢の子供たちの人気の先生でした。モイヤー先生の教えは私に、地球が、かけがえのない大切な惑星であることに気付かせてくれました。そして、三宅島の自然は、世界に誇れる貴重なものであることを教えてくれました。私は、モイヤー先生のお陰で、「地球」という美しい水惑星が大好きになりました。そして、地球の自然環境の様々な営み、生きものたちがはぐみ合う複雑な関わり、驚きの神秘的な世界について、もっと知りたくなりました。さらに、すばらしい地球の自然環境を大切に守りたくなりました。私は、モイヤー先生の影響で、美しく興味深い自然を楽しみながら、微力ではありますが、環境保護活動に携わっています。

全島避難する前は、アカコッコ館に行くと、モイヤー先生が笑顔で迎えてくれて、三宅島の自然のこと、渡り鳥のこと、イルカのおもしろい行動のこと、長太郎池や、富賀浜、伊ヶ谷港の魚の最新情報を話してくれました。フィッシュウォッチング、イルカウォッチング、カンムリウミスズメの調査を一緒にさせてもらったこともありました。アカコッコ館行事の「モイヤー先生のオーシャン・セミナー」ではスライドを見ながら興味深い話をしてくれました。大路池の森や、椎取神社の森で巨木ウォッチングや、バードウォッチングをしながら、自然のすばらしさを話してくれました。

1998年5月にモイヤー先生が中心になって、アカコッコ館で国際シンポジウム「エコツアーリズムと島の鳥」が開

催されました。世界各国からモイヤー先生の友人の学者たちや、国内外の専門家たちが大勢集い、島民も参加して、充実した話し合いが繰り広げられました。

エピソードもあります。三宅島自然ふれあい友の会の持ち寄りパーティでみごとなジャズピアノを次々と演奏してくれました。みんなうっとり聞きました。それから、8年程前にご長男が都内の産院で誕生した時、たいへん喜んで、「ワタシハ、トウキョウデ、イチバン、トシヨリノ、パパデスネー。」と、にこにこ顔で話していました。

モイヤー先生の亡くなった知らせを受けた時は、驚き、茫然としました。今でも信じられません。三宅島の噴火避難勧告が、解除されたら、いっしょに帰島したかったです。真っ青な三宅島の海に、もう一度笑顔で、潜ってほしかったです。「JACK MOYER」とサイドにネーム入りのウエットスーツを着たモイヤー先生は、いつも、すごくカッコ良かったです。

モイヤー先生は、十何冊もの本を、私たちに残してくれました。楽しく、詳しく、わかりやすく、興味深い本ばかりです。子どもたちと繰り返し読んで、モイヤー先生の教えをいつまでも、つないでいきたいです。

ジャック・モイヤー先生、どうもありがとうございました。天国で安らかに眠りください。

発行：三宅島自然ふれあいセンター アカコッコ館

〒100-1211 東京都三宅島三宅村坪田4188

(連絡先) 財団法人日本野鳥の会 サクチュアリ室

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1F

TEL 03-5358-3517 / FAX 03-5358-3608